

V. ギャップ・セメスター・プログラム

本学部社会福祉学科では、海外での福祉にかかわる社会体験等とおして、社会福祉に関する知識・技能・価値観や、国際的視点・語学力等の国際関係能力を身につけるとともに、キャンパスから長期間離れ、自己や社会を見つめなおすことにより、現代社会の中で自分らしく豊かに生きていく力としての教養を身につけることをねらいとしたプログラムがあります。

このプログラムは、英国等で普及しているギャップ・イヤー（大学入学前等においてボランティア活動等の社会活動を行い、視野を広げるための猶予期間）を参考にして構築されたものであり、1学期間キャンパスから離れ、社会活動を行いながら視野を広げること等をめざしたプログラムであることから、ギャップ・セメスター・プログラムと呼ばれています。

1. ギャップ・セメスター・プログラムの概要

ギャップ・セメスター・プログラムの概要は次のとおりです。

(1)対象

希望学生

(2)ギャップ・セメスター・プログラムを構成する科目

- ① 「社会福祉演習Ⅰ」、「社会福祉演習Ⅱ」
- ② 「社会福祉実習」
- ③ 「社会福祉実習指導」
- ④ 「English language」（Ryukoku Intercultural Program 選択者のみ）
- ⑤ 「Lecture」（Ryukoku Intercultural Program 選択者のみ）
- ⑥ 「Volunteer」（Ryukoku Intercultural Program 選択者のみ）

(3)ギャップ・セメスター・プログラムの大まかな流れ

- ① 1年次4月～3月
学内でのオリエンテーション、事前指導（オリエンテーションへの参加、事前学習、活動計画書の提出、個別相談等を含む）
※ ギャップ・セメスター・プログラムに参加を希望する学生は、必ず1年次の6月中に担当教員まで申し出てください。
- ② 1年次3月下旬～2年次7月下旬
社会体験プログラム（教員による巡回指導やゼミ担当教員による電子メール等での指導等を含む）
- ③ 2年次9月下旬以降
学内での事後指導（報告会での報告、レポート提出等）

履修の心得	履修をはじめるにあたって
	シラバス
	単位制度と単位の認定
	授業科目の開設方法
	履修登録
教育課程	成績評価
	教育課程の編成方法
諸課程	その他
	啓蒙保健センター 障がい学生室について
学修生活の手引き	授業休止の取り扱い基準
	学籍の取り扱い
付録	

ギャップ・セメスター・プログラムの概要

科目名等	1 年次		2 年次	
	前期	後期	前期	後期
社会福祉演習Ⅰ 社会福祉演習Ⅱ		学内での事前指導 (活動計画書の提出、個別相談等)	電子メール等での指導等	
社会福祉実習			社会体験プログラム	
社会福祉実習指導			巡回指導や電子メール等での指導等	学内での事後指導 (報告会での報告、レポート提出等)
English language Lecture Volunteer			海外拠点での講義等 (RIP 参加者のみ)	
グローバル教育推進センター等によるプログラム	学内での事前指導 (オリエンテーションへの参加、事前学習、活動計画書の提出)			学内での事後指導 (留学報告会での報告等)

2. 社会体験プログラム

ギャップ・セメスター・プログラムを選択する学生は、原則として龍谷大学の教育・研究の海外拠点を活用して実施されている英語学習、ボランティア活動（福祉関係のプログラムのみ選択可）、講義を組み合わせた「RIP」(Ryukoku Intercultural Program) の Spring semester program に参加することになります。

※ RIP に参加するためには、所定の時期・方法で応募し、選考される必要があるため、RIP の説明会には必ず参加するようにするとともに、RIP 関係のお知らせに十分注意してください。

RIP 以外のプログラムを希望する場合は、1 年次の 7 月末までに活動計画書を大学に提出し、提出した活動計画書が認められた場合は、そのプログラムに参加することができます。この場合、次の条件を満たしている必要があります。

- (1) 社会体験プログラムを行う場所は、治安や衛生環境などが安全と判断され、かつインターネットが日常的に利用できる国外の地域であること
- (2) 社会体験プログラムを行う期間は、原則として 1 年次 3 月下旬～ 2 年次 7 月下旬であること
- (3) 福祉関係の活動を滞在期間中に継続的に行うこと
- (4) 福祉関係の活動を行う受入先から受け入れの内諾書が得られていること
- (5) 社会体験プログラムに関するねらい、内容等について活動計画書に明記されていること

3. 成績評価方法

RIP 選択者については、「社会福祉実習」(1 単位)、「English language」(最大 12 単位)、「Lecture」(最大 2 単位)、「Volunteer」(最大 4 単位)、全体で最大 19 単位分まで単位認定を行います。

RIP 選択者以外については、「社会福祉実習」(1 単位)の単位認定を行います。

なお、「社会福祉演習Ⅰ」(2 単位)、「社会福祉演習Ⅱ」(4 単位)、「社会福祉実習指導」(2 単位)の成績評価対象に含めません。